

下関市豊浦町ってこんなところ

1. 概要

- ・人口：16,209人（令和3年10月末日現在）
 - ・高齢化率：43.7%（65歳以上の方が占める割合）
 - ・面積：75.83km²
 - ・令和4年4月1日 過疎地域に指定
- （※豊浦地区の詳細は www.toyoura.net をご参照ください。）

2. 魅力

○豊かな自然

- ・市の北西部、日本海の響灘に面し、厚島を臨む青い海と緑の山に囲まれた豊かな自然環境に恵まれる。

○多彩なスポット

川棚温泉

- ・ナトリウム・カルシウム塩化物温泉。
- ・約800年の歴史を誇り、下関市・北九州市の奥座敷として親しまれ、毛利候や種田山頭火も絶賛！

大河内温泉

- ・アルカリ性単純泉。
- ・山間部にあり、古くから湯治場として旅人の疲れを癒す。

リフレッシュパーク豊浦

- ・季節の花を1年中楽しめる公園で様々なイベントを開催。

下関市川棚温泉交流センター（川棚の杜）

- ・平成22年に市民と来訪者の交流促進を図り、地域の特性を活用した交流拠点として設置。
- ・人々のふれあいの場として活用。何と、建築家・隈研吾氏の設計！

○移住者に寛容

- ・豊浦町内では、陶芸家・革製品などのものづくりに携わる方・音楽関係のイベント開催に従事する方など多くの移住者の方が周囲の方と交わりながら、それぞれのライフスタイルを満喫しています。

3. 地域おこし協力隊員募集にあたって

- ・ 下関市豊浦町への観光客数は、平成10年の61万7千人から減少傾向となっていました。平成27年から令和元年までは59万人前後で推移しています。令和2年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、大幅に減少しています。
- ・ 観光客数が減少し、復調しない原因としては、**観光客の趣味嗜好の多様化への対応が遅れている**ことが影響していると考えられます。
- ・ このような状況の中、地域資源や文化を大切にしつつ、先端技術も取り込み、100年後も持続可能で活力のある町に育てていくため、そのきっかけとなるような**新しいことに取り組んでもらえる人材**を期待しています。

